2026年11月13日

各　　位

会 社 名　株式会社CAPITA
代表者名　代表取締役CEO 宮田 浩二
（東京証券取引所スタンダード市場
・コード：７４６２）
問合せ先 常務執行役員 管理部長 新島 裕一
電話　０３－６２７７－５０１５

2027年3月期第2四半期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社グループにおいて、本日開示いたします「2027年3月期 第2四半期決算短信〔連結〕」と2026年5月14日に公表しました2027年3月期第2四半期の業績予想について、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異

（2026年4月1日～2026年9月30日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	1,000	120	91	90	10.95
今回発表値（B）	1,942	10	△50	△33	△4.07
増減額（B－A）	942	△110	△141	△123	
増減率（%）	94.2	△91.7	―	―	
前期実績（2025年9月）	―	―	―	―	―

２．業績予想の差異の理由

（売上高）

当第2四半期累計期間の売上高は、第2四半期業績予想1,000百万円を942百万円（94.2%）上回る1,942百万円となりました。これは、第2四半期業績予想の策定時点では下期中の売却を想定していた販売用不動産の一部について、売却が上期中に完了し、売却時期が前倒しとなったことによるものです。当該増収は、通期業績予想に織り込んでいた販売用不動産の売却の計上時期が上期にずれたことによるものであり、通期の売上高の見通しを押し上げるものではありません。

（営業利益）

営業利益は、第2四半期業績予想120百万円を110百万円（91.7%）下回る10百万円となりました。これは、連結決算への移行に伴う監査法人費用等の体制整備費用、及び株主優待制度の拡充に係る費用が、第2四半期業績予想の策定時点の想定を上回って発生したことによるものです。

（経常利益・中間純利益）

経常利益は、第2四半期業績予想91百万円を141百万円下回る経常損失50百万円となりました。これは、上記の営業利益の減少に加え、今後のM&A及び不動産取得に備えて資金を確保したことに伴う金融関係費用の増加、並びに会計上の費用計上区分の変更により、第2四半期業績予想の策定時点では見込んでいなかった営業外費用が発生したことによるものです。この結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、第2四半期業績予想90百万円を123百万円下回る中間純損失33百万円となりました。

なお、上期に前倒しとなった販売用不動産の売却は通期業績予想に織り込んでいたものであることから、2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期の通期業績予想に変更はありません。

以　上